

感染症の「空間防衛」に威力を発揮する無光触媒施工「リン酸チタニア」

企業コード：388011732 (株)メーコー北海道 (札幌市)
 企業コード：010672491 (株)エス・オー・シー (札幌市)

新型コロナウイルスの収束が見通せないなかで感染症対策がいつその重要性を帯びている。感染症対策に向けては手洗いの徹底やマスクの着用といった「物体防衛」、ワクチン接種など医療レベルでの対策となる「体内防衛」、施設内の換気や空間内のウイルス希釈、接触機会の箇所に対する徹底した抗菌処理の実施といった「空間防衛」という三層防衛が重要視されている。

こうしたなかで(株)メーコー北海道(札幌市、代表取締役阿部正樹氏)と同社と提携する(株)エス・オー・シー(札幌市、代表取締役村上康彦氏)では、「空間防衛」をアシストすべくウイルス対策商品の取り扱いに注力をしている。そのうちのひとつが無光触媒施工「リン酸チタニア」。

「リン酸チタニア」の吹き付け施工により、対象箇所は365日24時間にわたり常に空気中の水と酸素に反応することで触媒効果を発揮、菌やウイルス、有機物、特定悪臭物質などを分解する。抗菌や抗ウイルスのみならず、防カビや臭気対策、清掃効率の向上などにも効果を発揮する。また、この「リン酸チタニア」は、「新型コロナウイルス デルタ株」に対する有効性のエビデンス取得をしている。

一般的な光触媒製品の有効性は1年程度といわれるのに対して、無光触媒の抗菌効果は4～5年程度以上は持続することから光がなくても安定した効果が期待できる。

施工方法は、吹付施工をする前に専用洗剤(オリジナル酸性洗剤)などを用いて対象先の除菌・洗浄を行ったうえで、専用ガンにより実施をする。

新型コロナの感染拡大が続くなかで、全国での導入実績を有しており、2021年に開催された東京オリンピックでは、感染症対策として新国立競技場などにおいて導入された。また国内の私鉄会社のほかJRなど既に20,000車両以上において施工実績がある。また、道内においては、都市間バスや路面バス、送迎バスなど約500両以上での施工実績のほか、札幌市営地下鉄においては、感染症対策の抗菌基準として導入をされている。

(株)メーコー北海道は、SIAA(一般財団法人 抗菌製品技術協議会)より抗菌性・安全性が認定された会社としてライセンス取得をしている。

もうひとつの取り扱い製品が低濃度二酸化塩素



写真上 「リン酸チタニア」の吹き付け施工作業
 写真下 低濃度二酸化塩素生成器「エレクローラー」

生成器「エレクローラー」。「エレクローラー」を設置、稼働させることで空間除菌を目的とした感染症予防対策に威力を発揮、ウイルス・雑菌に有効とされる二酸化塩素を広域分散することで、部屋内の浮遊ウイルスや付着雑菌など人体に有害な菌を不活性化させる。フロア面積300㎡、高さ3mまでの広域空間で有効性があり、安定した低濃度の二酸化塩素を電気分解により生成する。次亜塩素酸水などの噴霧器とは異なり、毎日の液材や水の交換・補充は不要(360時間ごとに主液を交換するのみ)。

この間、国内の文教施設・学童施設・病院・老健施設・ホテル・企業・ワクチン接種会場・感染病棟・アミューズメント施設などを中心に道内では既に200台以上の導入実績がある。

お問い合わせ先

(株)メーコー北海道

〒005-0005 札幌市南区澄川5条4-3-1

TEL：011-827-7471

FAX：011-827-7474

<http://www.mekohokkaido.com>